

◆ダムが造られる前のようす◆

ダムが建設される所は、「松坂」とよばれ、そこには下谷ヶ地、中在家、中畑、中村、入谷ヶ地の5つの集落がありました。

1180年（治承年間）ころに人が住んでいたと言われますから800年以上もの歴史があった所です。特に下谷ヶ地は、博士峠を越え、会津盆地に入った最初の集落であったので、峠を越える人々の宿場や品物の売り買いする交易の場として栄えた時代もあったと言われています。

豊かな自然にめぐまれた松坂は、林業が主な仕事で、そのほかには、わらび、ぜんまい、きのこなどの山菜を採って売り、山にたよった生活を送ってきました。

ダムの建設にともない、昭和58年（1983年）9月10日に「離村式」が行われました。地区の58戸、193人は、長年住みなれた地を離れ、永井野・高田や若松、県外へと移転することになりました。（松坂地区民俗調査報告書より）

▼当時の尾岐小学校松坂分校

